

建設技術公開「EE東北‘17」に出展

株式会社オリエンタルコンサルタンツは2017年6月7日(水)～6月8日(木)の2日間、みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」(宮城県・仙台市)で開催された建設技術公開「EE東北‘17」に出展いたしました。

当社の出展ブースでは、OCMAX~統合型公共施設等データベース~、WCN(ワイヤレスコールナンバー)交通流動把握の提案、地域の拠点運営から地域活性化事業の推進、シェルター型津波避難施設などの技術サービスを紹介し、行政、企業、学校関係者など多数の方々にご来場頂きました。

また、今回の出展はACKグループの一員として、株式会社エイテック、株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング、株式会社リサーチアンドソリューションのグループ企業3社と共同出展致しました。

《開催概要》

主 催 : EE 東北実行委員会 (委員長/東北地方整備局企画部長)
開 催 日 時 : 2017年6月7日(水)～2017年6月8日(木)
会 場 : みやぎ産業交流センター「夢メッセみやぎ」屋内展示場及び屋外展示場
〒983-0001 仙台市宮城野区港3-1-7



【出展パネル】

OCMAX ～統合型公共施設等データベース～

公共施設等総合管理計画は、平成28年度に策定が完了しました。個別施設の長寿命化計画や統廃合計画がスタートとなり、施設情報の一元化に統合型データベースが必要となります。オリエンタルコンサルタンツは建物からインフラ施設まで公共施設の情報を一元管理できるデータベースを提供します。

● 建物とインフラ情報の一元管理（横浜市、名工大との共同研究）

平成26年度、弊社は横浜市と名工大と共同研究を行い、統合型公共施設DBを発表しました。

上記DBは以下の3つを支援します。

- ① 公共施設等総合管理計画の策定
- ② 維持修繕のスケジュール、履歴の管理
- ③ 資産価値

H27年度は、横浜市の近隣自治体である岡田市のDB構築を支援しており、広域連携、包括管理の可能性について検討します。

H28年度は、設備を含めた公共施設の一元管理に資するデータベースを構築しました。

統一型公共施設DB構築
管理など戦略的に推進
産学官共同研究で成果
最新の設備維持管理実現へ

統一型公共施設DB構築
管理など戦略的に推進
産学官共同研究で成果
最新の設備維持管理実現へ

横浜市、名工大との共同研究

【弊社が考える統合データベースの活用メリットの一例】

将来のまちづくりを見据えた公共施設の立地適正化
各施設を総合評価できます。
公共施設の再配置を支援できます。

全体調整による予算の平準化、持続可能な自治体経営
ライフサイクル費用を一元化し、維持管理の年度予算の平準化が可能となります。

公共施設の情報を一元化による総合評価のイメージ

各事業の優先度を調整した予算の平準化イメージ

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
株式会社ACKグループ

WCN (ワイレスコールナンバー) を用いた 交通流動把握の提案

WCN (ワイレスコールナンバー) はETC車載器製造時に車載器毎に個別に割り当てられた値。

- 可搬式の路側機を、照明柱等の道路付属物に設置し、WCNデータを集集。
- 高所作業車や脚立等がなくても設置が可能。基本的に交通規制も不要。
- カーパドラーを利用するため、電気工事等なく、3日間(72時間)の調査が可能。

※福岡北九州高速道路公社にて調査実施予定

【概要】

約30cm

【システム構成図】

システムの運用イメージ

- <1> 地点間の旅行時間
WCNの位置情報を通じた車両が特定できるため、WCN設置箇所の旅行時間の算出が可能。
- <2> 施設の滞在時間
駐車場等の出入口に設置することで、滞在時間の算出が可能。
- <3> エリア内の交通流動
利用頻度、滞留時間等を把握。
- <4> 利用交通の属性
一定期間調査すると、地域の交通や交通渋滞など、利用頻度や滞留する時間、曜日などから分析。

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
株式会社ACKグループ

国内初 最大レベルの津波に対しても生命を確実に守る シェルター型津波避難施設 都呂津波シェルター（室戸市 H28.8.25 供用）

津波到達時間、津波高、地域状況（高齢者率が高い等）によっては避難施設到着後に昇降時間を要する避難タワーや高台では避難が難しい地域があります。

● 津波避難シェルターの実現性を検討

- 地震発生や津波到達時における構造信頼性、避難環境、避難誘導性などの課題を抽出、対策を創造
- 技術検討委員会〔高知県、高知工科大学他〕の助言を踏まえ避難環境に応じた3タイプのシェルター型避難施設を具現化

地上型(ドーム型)

半地下型

崖地型

● 国内初となる津波避難シェルター「崖地型」を設計

- 南海トラフ地震に対応する耐震構造、津波波圧・浸水に耐える止水性構造
- 瓦礫衝突の他、避難誘導・避難環境等に配慮し施設配置・配色にも工夫

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
株式会社ACKグループ

地域の拠点運営から 地域活性化事業の推進

● ACKGの技術・サービスの総合化による事業展開

- オリエンタルコンサルタンツはACKG(アックグループ)の中核企業として、グループの技術を総合し、地域活性化につながる様々なプロジェクトを展開しています。
- 地域活性化事業の拠点として、道の駅等の拠点施設を基本構築から指図管理までトータルプロデュースし、「観光」「包括管理・自主事業」「地域メディアの推進」を統合して地域活性化を総合的にマネジメント致します。

道の駅等

トータルプロデュース
基本構想・基本計画
基本設計・施設設計
管理運営アドバイザー
施設管理

道の駅等 = 地域活性化の拠点

政策立案・効果分析

道の駅等を拠点とした事業展開

- 21区・2000坪型
- 地域活性化
- 防災・防災教育
- 防災訓練・防災事業
- 防災フォーティア
- 防災防災(防災防災)
- 防災防災(防災防災)

一般社団法人 未知倶楽部
プロモーション 高知県観光協会

アマネチャンネル
道の駅の電気インフラ構築などを、モバイル向けの専用デジタルコミュニケーションシステムでリアルタイムで発信しています。

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
株式会社ACKグループ

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL: <http://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、伊藤